

第1学年 算数科

1 学年の目標

- (1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにする。
- (3) 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにする。
- (4) 具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり読み取ったりすることができるようにする。

2 指導の要点

数と計算	数の意味と表し方	<ul style="list-style-type: none"> ①ものとものを対応させることによって、ものの個数を比べること。 ②個数や順番を正しく数えたり表したりすること。 ③数の大小や順序を考えることによって、数の系列を作ったり、数直線の上に表したりすること。 ④一つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係付けてみること。 ⑤2桁の数の表し方について理解すること。 ⑥簡単な場合について、3桁の数の表し方を知ること。 ⑦数を十を単位としてみること。
	加法・減法の意味と計算	<ul style="list-style-type: none"> ①加法及び減法が用いられる場合について知ること。 ②1桁の数と1桁の数との加法及びその逆の減法の仕方を考え、その計算が確実にできること。 ③簡単な場合について、2桁の数などの加法及び減法の計算の仕方を考えること。
量と測定	量と測定についての理解の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ①長さ、面積、体積を直接比べること。 ②身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かて長さ、面積、体積を比べること。
	時間	○日常生活の中で時刻を読むこと。
図形	図形についての理解の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ①ものの形を認めたり、形の特徴をとらえたりすること。 ②前後、左右、上下などの方向や位置に関する言葉を正しく用いて、ものの位置を言い表すこと。
関係 数量	加法・減法の式	○加法及び減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること。
	絵や図	○ものの個数を絵や図などを用いて表したり読み取ったりすること。

算数的活動	<p>①具体的な事物について、まとめて数えたり等分したりし、それを整理して表す活動</p> <p>②計算の意味や計算の仕方を、具体物や言葉、数、式、図などを用いて表す活動</p> <p>③身の回りにあるものの長さ、面積、体積を直接比べたり、他のものを用いて比べたりする活動</p> <p>④身の回りから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりする活動</p> <p>⑤数量についての具体的な場面を式に表したり、式を具体的な場面に結び付けたりする活動</p>
-------	--

用語・記号	一の位, 十の位, +, -, =
-------	-------------------

3 評価の観点の趣旨

観点	観点の趣旨
算数への関心・意欲・態度	数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもととする。
数学的な考え方	数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、数理的な処理に親しみ、考え表現したり工夫したりしている。
数量や図形についての技能	整数の計算をしたり、身の回りにある量の大きさを比較したり、図形を構成したり、数量の関係などを表したり読み取ったりするなどの技能を身に付けている。
数量や図形についての知識・理解	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方及び整数の計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を豊かにしている。